

# こんにちは 豊前市議会です



(上段左から：総合福祉センター、中央公民館) (下段左から：合河公民館、角田公民館)

## 議員提案による議案可決 P2

「豊前市満3歳以上教育・保育給付認定子どもに係る副食費の助成に関する条例」



### 12月定例会(11/27～12/13)主な内容

#### 目次 CONTENTS

議案の概要	2P
令和元年12月定例会 議案審議結果	3P
一般質問	4～10P
議会報告会	11P
視察研修等	12～13P
海外ホームステイ研修報告	14～15P
トピックス・編集後記	16P

議会へのご意見をお寄せください

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311  
ホームページ/http://www.city.buzen.lg.jp



## 議案の概要

令和元年第4回定例会は、11月27日から12月13日までの17日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例案件9件、予算案件4件その他の案件5件の合計18件上程されました。所管の常任委員会で慎重に審査した結果、原案どおり可決認定されました。

また、議員より豊前市満3歳以上教育・保育給付認定子どもに係る副食費の助成に関する条例の制定についての議案が1件提案され、最終日には議会運営委員会より意見書案1件が提案され、いずれも原案どおり可決されました。



### 豊前市満3歳以上教育・保育給付認定子どもに係る副食費の助成に関する条例が制定されました!!

議員提案により、議案第66号「豊前市満3歳以上教育・保育給付認定子どもに係る副食費の助成に関する条例の制定について」は、文教厚生委員会に付託され、慎重に審議をいたしました。その中で委員より、「慎重に副食費の助成の導入を検討する必要があるのではないのか。もう少し時間をかけて審議すべきではないか」「今年度は、国の第3子以降の無償化及び来年度以降は、第3子以降の無償化、そして県の15歳までの医療の1/2補助、今まで市がみていた予算を副食費の無償化に充てて、是非取組むべき」「施設も徴収事務の軽減が図られる」などの意見が出ました。

その後、文教厚生委員会で採決し、全会一致で可決しました。

最終日の本会議の採決前には、議案第66号に対して討論があり、「全ての方が対象となるよう要綱などの整備で対応を求めるとあったが、要綱は議決が必要ない。よって、議案第66号を廃案とし、新たに豊前市内の3歳児以上の園児が公平に補助を受けられる新たな条例の制定を強く求める」等の反対討論が出ました。また、「子育て世代に少しでも早く対策することが大事だ。子どもは豊前市の宝であり、その子ども育成に係る議案なので賛成したい」等の賛成討論が出ました。

そして、採決の結果、賛成多数で可決されました。

その後、市民から、「副食費助成は助かります」の声が寄せられました。また、京築地方保育協会豊前支部より、「幼児教育保育無償化に伴うお願い」という要望書も提出されました。

### 文教厚生委員会申し入れ事項

議案第66号 豊前市満3歳以上教育・保育給付認定子どもに係る副食費の助成に関する条例の制定について

今回、子ども・子育て支援法に関した、議員提案で副食費の助成に関する条例を提案したが、市内・市外にはいろいろな施設がある。もし、この条例に該当しないような施設及び児童・保護者がいるようであれば、それらの方についても要綱などを変更・整備し、助成の対象となるよう。

以上、申し入れました。

### 産業建設委員会申し入れ事項

事業を実施する時は、積算根拠及び綿密な事業計画を立てること。

また、当初のさくら植栽事業のような、曖昧な事業積算をしないように、十分に注意すること。今後は、観光振興につなげる計画としてしっかり努めること。

以上、申し入れました。

### 常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

総務委員会	古川哲也・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代・黒江哲文・福井昌文・尾澤満治
文教厚生委員会	福井昌文・秋成英人・為藤直美・内丸伸一・平田精一・鎌田晃二・岡本清靖
産業建設委員会	黒江哲文・郡司掛八千代・為藤直美・平田精一・鎌田晃二・爪丸裕和・磯永優二
議会運営委員会	鎌田晃二・為藤直美・黒江哲文・平田精一・福井昌文・古川哲也



# 令和元年12月定例会 議案審議結果

〔○〕……………賛成                      〔●〕……………反対  
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二	賛成	反対
議案第48号	豊前市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	11	0
議案第49号	豊前市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	11	0
議案第50号	豊前市環境センター設置条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第51号	豊前市宮住宅管理条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第52号	豊前市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第53号	豊前市下水道条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第54号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第55号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第56号	豊前市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第57号	財産の取得についての議決内容の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第58号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第59号	指定管理者の指定について（豊前市まちなか交流センター）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第60号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第61号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第62号	令和元年度豊前市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	11	0
議案第63号	令和元年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	11	0
議案第64号	令和元年度豊前市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第65号	令和元年度豊前市宮駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第66号	豊前市満3歳以上教育・保育給付認定子どもに係る副食費の助成に関する条例の制定について	原案可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	議長	8	4
意見書案第2号	国による妊産婦医療費助成制度創設並びに、福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止を求める意見書（案）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0



# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『平成豊明会』の一般質問



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一

### 【質問項目】

(黒江哲文議員)

① 市民ニーズに向けたまちづくり

(内丸伸一議員)

② 環境関連施設

③ 水道事業

④ 防災

(平田精一議員)

⑤ 交通弱者の問題

⑥ 教育の諸問題

⑦ 今後の地域づくり

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※ 文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

※ 詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

※ また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

## 若者世代への

## 工夫ある政策を

黒江議員 現在、国や地方が抱える重要課題は、防災対策に並んで少子高齢化、人口減少問題である。若者がいかに豊前市で働きたいか、そんなイメージがもてる企業誘致、また企業と連携した政策が必要ではないかと思う。近隣の中津市は企業誘致の促進優遇制度、企業の支援等を、福井市でも企業と連携した子育てファミリー応援企業の登録制度を行っている。このような施策をしっかりと考え、地方創生等に人口減対策として打ち出していくことが必要と思いがいかがか。

産業建設部長 若い方が働く雇用の場等につながるような、事務系も情報系等も含んだ企業誘致等しっかりと取り組んでいきたい。また、その際の優遇制度についても、他町村に引けをとらないような見直し等も行いながら取り組んでいきたい。特

に地方創生事業の中で、人口対策として、若い方、子育て世代の方に対する優遇措置等、庁内でよく連携しながら取り組みを進めていきたい。

黒江議員 人口減少問題を豊前市はどのようにしていくか、お金がないから難しいではなく、お金のかわらない事業を、どんどん知恵を振り絞って、いかに若者世代を取り込み人口増につなげていくか、地方創生にあげたテーマが本当に人口につながっていくかなど検証し、考えているか。そういうことを具体的に考えることが必要と思うが、市長いかがか。

市長 豊前市の将来を考えた場合、やはり若い世代が定住できる、ここでしっかりと頑張ろうと、そういう豊前市にならなければと思う。確かにいま、働く場所がたぐさんあるのに、なぜ若者が

残ってくれないのか。やはり魅力的な職場、そういうものをしっかりと見極めながら、最先端の魅力ある、そして賑わいのある地域づくりにつなげていく。今までのご紹介いただいた例などももう一回勉強し直して、しっかりと頑張っていきたい。

黒江議員 いまの豊前市を見ていると、お金がないから市民の力でどうにかと、そういうふうに関心がある。やはり行政が方向を示して、先頭に立っていくべきだ。お金がなくても、市民ニーズに応えることは、工夫をすればできる。お金がないからこそ、多くの挑戦をしていくことが必要になつてくると思う。皆が力を合わせてやっていくような明るい豊前市をつくってほしい。





## ごみの減量化 意識改革を

する保護者の方に、当日、学校で授業参観していただくとは可能かと考えている。そうした取り組みから始めて、親子での取り組みというようなものにつなげていければと思う。

**内丸議員** 豊前市では、毎年、小学4年生の環境授業として、環境関連施設を見学していると聞く。大変いい授業だと思うが、児童だけだと、それ以上になかなか話が広がらないと思う。そこを一段階ステップアップさせ、その保護者にも参加してもらい、親子でごみの出し方や減量化について話し合うという試みはいかがか。また、家庭で取り組めるごみ減量化などを家庭で考え、学校等で、発表会などで発表してもらってはどうか。

**教育部長** 社会科見学にはなかなか保護者が一緒に行くというのは想定しづらいが、環境出前授業とかそういう機会を捉えて、希望

えてこれからの事業を考えていきたい。

**内丸議員** 空き家の片付けでまだ十分使用できるものも、やむなくごみに出さざるを得ないという声も聞く。豊前市には、海外から働きに来ている方も多いため、その方々に使用できるものをリユースできる仕組みがあれば、ごみの減量化にもつながると思うがいかがか。

**生活環境課長** 関係課とそういうのが生かせないか、これから考えていきたい。

**内丸議員** ごみは、ごみと見ればごみであり、譲り合うものと思えば宝となる。いかにごみ問題を一人一人が考え、行動をとるべきか。また、一人一人の問題から、地域、国、ひいては地球全体の問題として考えなければならぬ時代になっているというのを、市も理解して行動していただきたい。

**生活環境課長** いま特に行ってないが、以前、市のイベント等でフリーマーケットを開催していた経緯もあり、そういうことも考



## 交通弱者の

## サポートを

**平田議員** 交通弱者を救うための市バス運行について、乗客が年々減ってきていると思うが、乗車率を上げるためにJRとの乗り継ぎの時間を考えているか。それと、忘年会シーズンになるが、行きだけ市バスを使うとか、そういうことを企業等にアピールする方法もあると思うがいかがか。

**市民福祉部長** JRへの接続については、いま職員がそれぞれの時間帯で実際にバスに乗り、どの時刻が多いとか、そういった調査をやっているところである。JRの本数イコールバスの本数ではないので、どの路線に合わせるのが一番効率がいいのか協議している。また、いろいろなところへの声掛けもしてはということなので、原課のほうとも協議をしたい。

**平田議員** 次に、デマン

ことか。  
**教育部長** 調べた範囲では、国交省は最近その辺かなり柔軟に認めているので、要は利益を求めない形での運行は可能だと聞いている。

**生活環境課長** 昨年度、三毛門と黒土の交通空白地域に対して1年間行ったが、登録者292名、実利用者43名で、費用負担として片道一人200円出してもらい、不足分をタクシー会社に支払っているが、その金額は82万4700円かかっている。車は746台稼働し、平均1.9人くらい乗ったことになる。

**平田議員** やはり福祉タクシーとして考えれば、多少なり持ち出しが出るのは仕方がないと思う。いま、全国的に見ると、地域づくり協議会の中で、地域コミュニティタクシーの運行実証をやっているところがある。以前は、白タク行為として禁止されていたが、そういう行為も可能になってくるという

**平田議員** 今後、こういう話が出てきたときには、豊前市としてはどういう対応をとるつもりか。  
**市民福祉部長** 公共交通のあり方については様々な形態があると思うので、そういったところも今後しっかりと研究、協議していきたい。

**平田議員** 高齢化社会の中で、高齢者による悲惨な交通事故が全国的に起きている。それを防ぐためにもしっかりとサポートし、市バス、デマンドタクシー、地域づくり協議会でのボランティアタクシー等を、しっかりとやっていただきたい。





# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『平成豊友会』の一般質問



磯永 優二



福井 昌文



秋成 英人



鎌田 晃二

### 【質問項目】

(秋成英人議員)

- ① 広域連携進捗状況
  - ② 母子手帳の電子化
  - ③ マイナンバーカード対策
  - ④ 職員に対するコンプライアンス教育
  - ⑤ 子供に対してのインターネット教育
- (福井昌文議員)
- ⑥ イベントの運営
  - ⑦ 住民サービス
- (鎌田晃二議員)
- ⑧ 安全・安心のまちづくり
  - ⑨ 幼児教育・保育のあり方
  - ⑩ 教育環境の改善

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。  
※ 文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。  
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。  
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

## 広域連携により 早急に病児保育の実施を

秋成議員 豊前市が、現在

行っていない病児保育について、6月・9月議会において質問し、子育て環境の充実や若い世代への訴求ポイントとして取り組むべきであると提案した。

前回の執行部の回答は、市単独での事業は難しい、広域連携事業として吉富町とは前向きに検討できるといったものだった。

それから3カ月経過し、担当者間、もしくは首長間で話がまとまっている頃ではと思うが、進捗状況についてお尋ねする。

福祉課長 委託先の医療機関と細部について調整を行っているとの報告を受けており、回答待ちの状況になつている。

秋成議員 病児保育の予算の試算や問題点の検証は終わっていると思うが、

説明をお願いする。

市民福祉部長 吉富町との共同実施を進めてきたので、市単独での体制・予算の試算は行っていない。

秋成議員 先日、吉富町長と病児保育の広域連携について話をする機会があった。町長からは広域でやれる事業は前向きに取り組むつもりである、病児保育についても前向きに検討するが、豊前市から具体的な話が来ていないと伺った。そこで、吉富町との交渉状況をお尋ねする。

福祉課長 担当者が共同実施で出来ないかと4、5回連絡を取っている状況である。

秋成議員 現時点での市長の病児保育についての考え、今後の取り組みをお尋ねする。

市長 病児保育は、関係機

関に相談したが、市単独では非常に難しく、不可能に近い状況である。吉富町とは、一度町長さんと話をした記憶があるが、その後事務レベルに任せきりになつていった。これからは、病気で不安を抱える親、家族の思いを察し1日も早く見通しが立つよう努力したいと思つている。

秋成議員 豊前市単独で実施が難しい以上は、近隣自治体と協力し合い、広域連携、行政を推進して欲しい。特に吉富町は、病児保育について前向きに検討してもいいと言っている。このような機会を逃さずべきではないと思う。病児保育の実現に向けて引き続き交渉をお願いする。





# 時代の流れに遅れず 住民サービスの充実を

**福井議員** 住民サービスは、各自自治体試行錯誤しながらニーズに応えるよう色々な施策を打ち出している。本市も、「お悔みコーナー」を設置するなど努力していることは理解できる。しかし、住民の利便性向上のため、コンビニ等で証明書等の自動交付を以前から提言してきたが、その進捗状況を伺いたい。

**市民福祉部長** 近隣の状況は、行橋市、苅田町、みやこ町が既に実施しており、上毛町は来年の1月から、築上町は令和3年度中には実施の予定である。

**豊前市**においても、少しでも早く実施したいが、経費も伴うことである。その上、導入にはマイナンバーカードの取得が必要であ

る。その取得率が非常に低いという現実を踏まえて、前向きに動いていないのが現状である。

**福井議員** マイナンバーカード取得の推進であるが、コンビニ交付を実施すれば、必然的に必要となり普及が進むと考える。

**市民福祉部長** 今年度までであれば交付金事業を活用出来た。しかし、検討したが、財政状況を勘案し実現には至らなかった。

**福井議員** 近隣が出来て豊前市に住む方ができない。仕事でいけない方もいる。コンビニ交付にすれば午前6時半から午後11時まで住民票等が取得できる。また、豊前市内のコンビニには上毛町の案内ポスターも貼られている。こ

れを見て「豊前市ではまだ出来ないのか」という市民の声も聴く。時代の流れには逆らえないと思う。そこで市長の考えを伺いたい。

**市長** 4千万円の設備投資は、非常に大きな重荷になる。マイナンバーカードを持つて、住民票として使える時代が来るのでは。国の流れも見ながら、マイナンバーカードの普及によって解決できることがあるかもしれない。そのようなところも見据えながら情報収集をしていきたい。

**福井議員** マイナンバーカードに保険証が付随されることも聞いている。市民にとって、暮らしやすい住みやすい豊前市になるために、時代の変化、流れに乗り遅れないように切に願う。



# 教育環境の充実を

**鎌田議員** 学校の教育現場から先生の数が足りないと言き、テレビ等で全国的にも特に小中学校の先生がいないと放映されていた。そこで豊前市は、教職員定数が満たされていないのかお尋ねする。

**教育長** 欠員が生じたとき補うのに汲々としていることを、現場は足りないと言っているのだと思う。例えば産休、病休等が突然出た時、県が常勤講師で補うわけだが、ほとんど講師はいない状況である。退職した先生に無理矢理お願いして、やっと補充する、あるいは短い期間は配置できない場合があるとか。基本的にはかつかつ、配置出来ている網渡り状況だと、ご理解いただきたい。

**鎌田議員** 教員の働き方を変えるのは、先生の仕事を減らすか、先生を増やすしかないと思う。そこでお尋ねするが、学級担任は非常勤講師でも可能なのか。

**教育部長** 常勤の講師で

況を整えたうえで判断したい。

**鎌田議員** 多治見市は不登校の子供に家庭訪問するとか、ほほえみ相談員さんが大活躍しているが、豊前市に代わるものがあれば教えていただきたい。

**教育部長** 県から派遣のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置し、また、生徒指導の支援スタッフの配置等もしている。

**鎌田議員** 多様化する学校におけるトラブル解決のため、法律がわかる弁護士士の存在は大きいと思う。そこで、スクールロイヤーの設置は考えているのかお尋ねする。

**教育部長** 文科省がモデル事業として、全国10箇所スクールロイヤーの制度の導入というのは聞いています。当面は課題解決にどうしても専門的な方の支援が必要な時は、個別で対応していきたいと考えています。

**鎌田議員** 子どもたち、先生たちの、より良い教育環境の実現のため、最大限の努力をお願いします。



# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『無党派議員』の一般質問

### 【質問項目】

(爪丸裕和議員)

- ① 少子化問題
- ② 防災問題
- ③ 財政問題

### 【質問項目】

(尾澤満治議員)

- ① 市民協働の街づくり
- ② 市民サービスの向上

### 【質問項目】

(古川哲也議員)

- ① 国及び県からの補助金
- ② 上下水道事業
- ③ 危険家屋の問題

### 【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 安全・安心なまちづくりの為に
- ② ふるさと納税のメリット
- ③ 人生100年時代

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※ 文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

※ 詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

※ また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

## 財政問題について



爪丸 裕和

爪丸議員 歳出について、団体へ補助金や多くの業務委託をしている。その中で生活困窮者の自立相談支援事業を社会福祉協議会に委託している理由をお聞きしたい。

市民福祉部長 この事業は、生活困窮者自立支援法に基づいて行われている事業で、社会福祉協議会に委託し、職員2名が相談支援員として相談に応じている。30年度の実績については、延べの相談件数が224件あり、相談内容は、収入や生活費に関するものが最も多く、次に病気や健康、障がいや住まいに関するものであった。

爪丸議員 財源確保の点からも豊前市が独自でやるべきだと思いが、業務委託の正当性について伺い

たい。

市民福祉部長 平成27年度から社会福祉協議会に委託している事業で、経験値も十分積まれており、市としても情報の共有を図り、連携を密に取ることを大前提として委託の方向で考えていきたいと思っております。

爪丸議員 糸島市は、今年度から社会福祉協議会へ委託することになった。職員が、社会福祉士の資格を取得していることが、大きな理由である。そこで、豊前市社会福祉協議会には、社会福祉士を取得した職員がいるか、お尋ねする。

市民福祉部長 社会福祉協議会には、その資格を持った職員はいない。

爪丸議員 この豊前市役所で、社会福祉士を持っている方、社会福祉士主事を持っている方が何名いるのか伺いたい。

福祉課長 社会福祉士を保持している職員は、把握していないが、社会福祉主事

の資格を持っている職員は、福祉課の生活保護業務をしている担当ケースワーカーと係長、合計4名となっている。

爪丸議員 健康長寿推進課長が、資格を取得していると聞いたがいかがか。

健康長寿推進課長 個人的に資格の取得をしている。

爪丸議員 豊前市にそれだけ専門の方がいる。一方、委託をしている社会福祉協議会には、専門の方がいない。そして貴重な財源、個人情報も漏れるから分らないような団体に安易に丸投げする自体がいかなものか。市長、答弁をいただきたい。

市長 弱い立場の人たちへの支援という、安心して暮らせる、過ごせる地域づくり、限られた財政の中で、最大限の効果を出していく使命がある。いま質問の中でのご提言などしっかりと踏まえながら、前向きに取り組んでいきたいと思う。

爪丸議員 しっかりとお願いする。



## ふるさと納税の返礼品の経過



郡司掛 八千代

を伺いたい。

**郡司掛議員** 平成30年は、ふるさと納税での寄附金は2億8千万円と、前年度の4倍と大きく増えたよ  
うだが、その理由として考  
えられる要因は何か伺い  
たい。

**総務部長** 理由について  
は、ふるさと納税に対する  
全国的な動きがあり、ポー  
タルサイトで、豊前市の返  
礼品の閲覧回数が多く、ラ  
ンキングの上位が続いたた  
め、多くの方の目に留まり、  
寄附金が増額したと分析を  
している。

**総務部長** 6月前までは、

一部の自治体が、制度の趣  
旨にそぐわないということ  
で、逸脱したという判断を  
総務省にされ、それを受け  
て、本年6月から制度改正  
が行われた。当然、苦戦をし  
ており、新たな事業者の参  
入、また市内業者に新規返  
礼品の開拓をお願いしてい  
る。

**郡司掛議員** 今後の納税  
増額への取り組みは、考え  
られるか伺いたい。

**総務部長** 棚田米と牡蠣  
とか250品目程度を用  
意し、各種会合、イベント等  
で、市外の方に、親類、また  
は知人・友人にご案内のチ  
ラシ等を配布して、皆様に  
お願いしているが、現在、苦  
戦をしている。年末に向け  
て、親類、知人、友人に声掛  
けをお願いしている。

**郡司掛議員** 返礼品とし  
て季節限定のもの、サイズ  
や量など、コンパクトにし  
て、組み合わせで入れるな  
り、セットするなり、返礼品

の中に地元お勧めの見本  
品やパンフレット、アン  
ケート用紙を入れるなり、  
してはどうか。また、高校  
とコラボして生徒の発想  
力を生かして商品開発を  
行っている自治体もあるの  
で、検討されてはいかが  
か。

**総務部長** 現地点で、季節  
限定商品は、なかなか困難  
な状況である。セット販売  
も、企業が、既に生産過程で  
設備投資を入れている状況  
なので、困難だと耳にして  
いる。個人の事業主について  
は、季節限定商品・コラボで  
きないか一度相談、提案を  
してみたいと思っている。

**郡司掛議員** ふるさと納  
税などで、豊前市を応援し  
てもらえる人をどうすれ  
ば増やせるか、財源確保に  
は一番良いと思うので、最  
大の努力をお願いしたい。



## 災害に備え改善・準備を



為藤 直美

ただただの御回答をいた  
だいている。また、市内のド  
ラックストアと協定を結び  
供給体制も整備していき  
たいと考えている。

**為藤議員** 母乳の代替と  
いうことで、災害時に備え  
て、あくまで緊急時に必要  
としている。各自治体の災  
害時における母子に必要  
となる物資の備蓄につい  
て、事務連絡が来てい  
る。その中で、生きてい  
く上で、水・電気の確保は  
いち早く必要とされてい  
る。その備蓄品の中に液体  
ミルクは準備されている  
のか伺いたい。

**総務部長** 液体ミルクにつ  
いては、災害時において母  
乳の代替品ということ認識  
をされている。一方で、保  
存料が使用されていないこ  
とで、賞味期限が6カ月、ま  
た1年というところで、備蓄  
している水とアルファ米(5  
年)とかに比べると期間が  
短いので、そこが課題と認  
識をしている。道の駅に相  
談に行つて、年末もしくは  
年明けに取り扱いを開始し  
たい。

**総務部長** 違うメーカー  
から3番目の液体ミルクが  
発売される報道等も見てお  
り、賞味期限の長さも確認  
をしながら進めていき  
たい。

**為藤議員** 豊前市は、どの  
ような企業や団体と協定  
を結んでいるのか。

**総務部長** 災害時に必要  
な日用品とか、あと飲料  
水、また冷暖房機器等、優  
先的に20件の災害協定を  
各企業等と結んでいる。

**為藤議員** 豊前市は災害  
も少なく、危機感も薄いよ  
うに感じるが、もしもの  
ときに備えて多くのことを  
想定し、共助である協力体  
制の構築をお願いしたい。

**市長** 市民の皆さんが、  
しっかりとした情報が手  
に入るシステム、いち早く入  
手できる体制、防災ラジ  
オだけでなく、SNSを使い  
一人一人に情報が届くよ  
うに努力したいと思つて  
いる。

**為藤議員** いつ起こるか  
分からない災害時の備え、  
早い対応、正しい情報の提  
供をお願いする。











議長  
磯永 優二



副議長  
岡本 清靖

## 議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、一般質問を行いません。

開かれた議会を目指して

# 第8回 議会報告会を 開催しました!!

日時	場所	参加者	アンケート回収率
11月5日(火)	総合福祉センター	98人	84%
11月6日(水)	中央公民館	76人	58%
11月7日(木)	角田公民館	68人	71%
11月8日(金)	合河公民館	48人	63%

この報告会は、市民の皆さんに議会の中で審議・議論したことについての報告や市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて、意見交換を行うなど市民の皆さんとの対話を通じて、信頼関係を築くことを目的に行うものです。

今年で8回目となる報告会では、議会側から「防災無線の戸別受信機」・「し尿処理施設の現状と今後」・「さくら植栽事業」・「豊前市獣肉処理加工施設」・「伊良原ダム供用開始による受水量」などについて報告し、その後、各地域からの課題や要望についての意見交換を行いました。

また、参加者からのアンケートでは、「活発な意見交換が出来た」・「市執行部からの説明では分からなかったが、今回でよく理解できた」・「地域の実情を直接伝えられ良いと思う」などその他たくさんのご意見をいただきました。

それぞれの会場で皆さんからいただいたご意見については、今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。



# 他議会からの視察受入れ報告

豊前市議会では、他議会からの視察研修の申込みが多数あります。豊前市の事例を紹介し、それぞれの自治体で活かしてもらえればと思い、できる限り視察研修の受入れを行っております。

## 視察研修受入れ状況

平成31年・令和元年

平成31年2月7日	千葉県袖ヶ浦市	会派（創袖クラブ） 会派（袖和会）	5人	老朽危険家屋等除却促進事業
平成31年2月8日	岩手県一関市	会派（一政会）	9人	サテライトオフィス
令和元年5月15日	宮城県名取市	総務消防常任委員会	8人	老朽危険家屋等除却促進事業
令和元年10月31日	広島県竹原市	民生産業委員会	9人	老朽危険家屋等除却促進事業
令和元年11月7日	徳島県石井町	環境衛生対策特別委員会	9人	老朽危険家屋等除却促進事業

## 文教厚生委員会の視察研修



東京税関の研修の様子

文教厚生委員会では、令和元年10月21日～22日の日程で視察研修を行いました。

初めに、東京都にある東京港湾合同庁舎にて東京税関の職員による税関の役割や業務について概要説明を受け、活発な意見交換を行いました。

次に、昭和館を訪れました。昭和と今を繋ぐ伝えたい戦中、戦後の暮らしについて、昭和館の職員から具体的な説明を受け、見学を行いました。



## 議会運営委員会の視察研修



旧北淡東中学校跡地での研修の様子



旧野島小学校跡地での視察の様子

議会運営委員会では、令和元年11月12日～13日の日程で、淡路市へ視察研修を行ないました。淡路市は、統廃合により廃校となった学校を活用し、企業誘致を進めており、12日には、旧野島小学校跡地を活用し、新たな観光、6次産業化のモデル施設として利活用している「のじまスコラ」や大地震について考え防災について学べる「北淡震災記念公園」を訪れました。

そして、13日には、旧北淡東中学校の跡地に企業誘致された「山本光学株式会社」にて視察研修を行ないました。淡路市の企業誘致について、企業誘致推進課の職員より説明を受けた後、実際に利活用している山本光学株式会社の方から、学校跡地を利活用する上でのリスクやメリット等について、企業側の声も聞くことができ、行政の立場、企業の立場等、意見交換を通じて、とても有意義な研修となりました。

## 総務委員会の視察研修



しながわ防災体験館でのVRの研修の様子

総務委員会では、令和元年11月19日～20日の日程で視察研修を行いました。

初めに、国分寺市役所にて総務部防災安全課の秋本係長による防災のまちづくりの取組みとブロック塀助成と安全啓発についての概要説明を受け、活発な意見交換を行いました。

次に、しながわ防災体験館を訪れました。最新設備のVRで擬似避難体験や要配慮者避難誘導体験等、具体的な説明を受けました。



# 海外ホームステイ研修報告

豊前市海外ホームステイ事業は、現地での生活体験や学校での交流学习を通して異文化や生活習慣を学ぶことで、自国の文化を再認識し国際感覚を養います。また、日常生活を体験することによって英語を使って会話することへの意欲向上を図るとともに、コミュニケーション能力を高め、次代を担う国際的視野をもった子どもたちの育成に資することを目的としています。

今回で3回目を迎えることとなりました。

豊前市内に居住する中学生を対象に、ハワイ島ヒロ地区において一週間程度のホームステイを行いました。

訪問中は、福岡県人会をはじめ現地関係機関との交流を図り、また、以前本市でホームステイを受け入れたハワイ島ヒロ地区にある「セント・ジョセフスクール」と2日間の教育・文化交流を行いました。

## Welcome Party

待ちに待ったホストファミリーとの対面。

研修生たちは、事前研修で作成した自己紹介シートshow and tellを使って、積極的にコミュニケーションを図っていました。パーティーが始まると、県人会の能丸会長より、ハワイの日本人移民の話や、そこから学べる日本の将来についてお話がありました。研修生は空手と太鼓のパフォーマンスや、豊前クイズの披露、さらにホストファミリーの名前を習字で書くなどし、会場は盛り上がりました。ウェルカムパーティー終了後、研修生はそれぞれホストファミリー宅へ。いよいよホームステイのスタートです。



## 学校交流

2日目は学校交流でヒロ地区のセントジョセフスクールを訪れました。学校に着くと、生徒がレイでお出迎え。チャンツと呼ばれる校歌のようなお祈りも披露してくれました。

午前中は小学生のクラスをまわり、豊前クイズの披露や、折り紙、空手、太鼓のレクチャーを行いました。実際にパフォーマンスをした研修生も「日本の文化を知ってもらえた」と、満足していました。

初めは緊張していた様子の研修生たちも、現地の子供たちの元気な反応に段々と慣れていった様子でした。

ランチはハワイ式にカフェテリアでいただきました。いつもの給食とは違う味に、日本が恋しく感じた研修生もいたようです。





# ホストファミリー

随行スタッフの手助けもないホームステイ。研修生それぞれが自力でホストファミリーとのコミュニケーションを図りました。

「ホームステイ先では、英語が聞き取れなくて困りました。ここでは、ジェスチャーなどを使って表現したりして解決しました」「私のホストファミリーは、とても優しい人で、私が不安ながらに話す片言の英語を一生懸命に聞いてくれました。やっと、私は少し安心することができました」「ホストファミリーと過ごした時間は私にとって宝物です。これからメールをやり取りするなどして、交流を続けていきたい」など思いはそれぞれありました。

ホームステイ前の緊張が嘘のように、送り届けてくれたホストファミリーとハグでお別れしました。



## 研修生参加者

上田唯心(育徳館中学校3年)	有延香鈴(八屋中学校2年)	飯盛凜太郎(千束中学校2年)	石口結羽(合岩中学校2年)
岡山純也(八屋中学校3年)	小川呼春(千束中学校2年)	黒木真悠(八屋中学校2年)	見満大晟(育徳館中学校2年)
後藤未有(吉富中学校2年)	末永莉緒(千束中学校2年)	谷崎明美(八屋中学校2年)	深梅颯太(育徳館中学校2年)
松江洸多(八屋中学校3年)	矢鳴夏実(吉富中学校2年)	渡邊圭哉(八屋中学校3年)	

議会が要望して実現したこの「豊前市海外ホームステイ事業」に参加したことを機に、英語への興味が芽生え出場した福岡県中学生英語スピーチコンテスト京築地区大会で、平成30年度第1回は、(自由の部)で最優秀賞、令和元年度第2回は、(課題の部)(自由の部)でそれぞれ優秀賞と、素晴らしい成績をおさめています。議会としても、事業の成果があったことを喜んでおります。

また、この事業報告については、市役所ロビーにて、1月6日～1月22日まで展示を行いました。報告書の冊子については、各地区公民館に置いておりますので、そちらでもご覧になれます。詳細については市役所の総合政策課にお問い合わせください。

このホームステイ事業に際し、現地ではこのうえないご協力を賜りましたハワイ島福岡県人会をはじめ、関係した多くの方々のご支援ご協力に心から感謝申し上げます。

議会といたしましても、事業が継続し、この体験が子どもたちの未来につながりますよう、引き続き応援していきたいと思っております。



## 豊前市海外ホームステイ事業



ハワイ訪問の様子

豊前市では海外での異文化生活を通して、英語学習への意欲・コミュニケーション能力の向上を図り、国際的な視野をもった青少年を育成することを目的に、市内に住む中学生15名が令和元年10月10日～16日(5泊7日)の日程で、今回3回目となるハワイ州ヒロコ地区での海外ホームステイ事業を実施しました。

今回のホームステイを通して、参加した中学生たちは、異なる文化や価値観を直接肌で感じることができ、英語学習に対する意欲向上にもつながったと確信しています。

今後も議会では、青少年育成に対して最大限後押ししていききたいと思います。

詳細については、14～15ページをご覧ください。

## カラス天狗祭り参加



カラス天狗祭りオープニングの様子

令和元年10月27日に、第27回豊前市カラス天狗祭りのイベントに、東日本大震災発生後から漁船寄付による支援や夏祭り参加などで交流のある宮城県東松島市議会及び職員の皆さんに参加していただきました。

祭りの来場者も年々増加して盛り上がりを見せており、今年はステージイベントや物産等を楽しむ約1万7千人程の方で賑わいました。

東松島市のブースでは海苔・牛タン・ホタテを販売し、大盛況で完売しました。

## 編集後記

元号が平成から令和に変わり、令和初めての正月から1ヶ月過ぎようとしている。令和2年今年は、夏にビッグイベントがある。東京オリンピック・パラリンピックだ。

私は、前の東京オリンピック(昭和39年)に生まれたので記憶にないが、報道や映像で、東洋の魔女、体操日本、そしてマラソンの円谷幸吉さんなどのメダリストが生まれ、日本中が湧いた。あれから56年、今回の大会では、どのようなメダリストが現れるのか楽しみにしている。

オリンピックは平和の祭典といっているが、世界中では戦争やテロなどが多く発生している。

この大会が世界平和に役立つことを願っている。

古川 哲也

次回の定例市議会は  
**2月**です

## 議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会  
委員長：黒江哲文  
副委員長：郡司掛八千代  
委員：内丸伸一 秋成英人  
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社